



International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第 6 号

1990(平成2)年3月1日号

編集発行

(財) 栃木県国際交流協会

Tochigi International Association

〒320 宇都宮市昭和1-2-16

栃木県自治会館1階・3階

Tel (0286) 21-0777(代)

Fax(0286) 21-0951



春の花 (宇都宮市徳次郎町)

Spring Blossoms (Tokujira Town)

栃木県内では、春になるとウメ、モモ、コブシ、サクラ等の花でいろいろと咲き、4月上旬から下旬には県内各地で桜祭りがひらかれます。

栃木県花のヤシオツツジは、日光霧降高原周辺・いろは坂・龍頭の滝・塩原渓谷等で4月下旬から5月にかけて満開となります。

Plum blossoms, peach blossoms, cherry blossoms, magnolias..., flowers bloom beautifully throughout Tochigi Prefecture in Spring. Many cherry blossom festivals are held during April.

We can enjoy blossoms of the Rhododendron Albrechtii, one of the symbols of Tochigi Prefecture around the Nikko Kirifuri plateau, Iroha slope, Ryuzu Fall, and Shiobara ravine. It will be in full bloom from the end of April to May.

目 次

表紙写真「春の花」(宇都宮市徳次郎町)	1
栃木県浙江省友好調査団の10日間	2
南米徒然草一つづき	3
マレーシア青年との交流の旅	4
ボリビア体験記	5
こちら国際交流最前線	5
お正月国際交流の集い	6
事業紹介	7
地域国際化協会に認定される!!	7
協会日誌	7
Information Corner "CYCLING WEEKEND IN TOCHIGI"	8
協会からのお知らせ (ボランティア登録状況)	8

栃木県浙江省友好調査団の10日間

栃木県と友好交流を進めている中国浙江省との具体的な交流にむけて、栃木県浙江省友好調査団が昨年11月13日から22日にわたり、浙江省を訪問しました。

栃木県浙江省友好調査団は、昨年、栃木県と浙江省との間で「友好交流に関する協定書」と「友好交流に関する覚書」が取り交わされてから初めて浙江省に派遣される公式な団として、国際交流協会の推津理事長を団長に県の農林関係等職員や栃木市職員など総員15名で組織されました。

調査団は文字通り、中国浙江省との具体的な交流を行うために、各交流分野における専門家の眼で浙江省の状況を調査することを目的として訪中いたしました。

一行は11月13日午後、成田空港を出発し、上海空港では浙江省外事弁公室徐鴻道副主任の出迎えを受け、翌14日、浙江省の省都杭州市に到着しました。

杭州市では早速、許行貫副省長主催の夕食会、障害者芸術団の参観など浙江省側の並々ならぬ歓迎を受け、大変感銘を深くしました。



浙江省障害者芸術団員を囲んで (89.11.14)

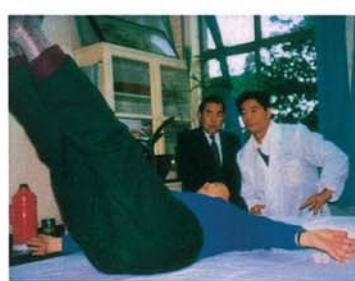


浙江工学院表敬訪問 (89.11.15)

15日の日程も浙江農業大学を表敬訪問して、浙江省副省長でもある李徳葆校長他大学幹部との意見交換を行い、また浙



潘祖倫浙江省省長表敬訪問(89.11.16)



中医薬研究院にて気功実演(89.11.16)

江工学院、農業科学院への表敬や視察の他、浙江省の伝統劇である越劇鑑賞に招待されました。ここでは、わざわざ日本語字幕を用意していただきました、調査団に対する並々ならぬ歓迎の熱気は衰えることを知りませんでした。

翌16日には、潘祖倫浙江省省長を表敬訪問しました。その席で潘祖倫省長は、渡辺知事にぜひお会いしたいとの希望を表明するなど一行は栃木県との友好交流に対する熱意を感じました。省長表敬訪問の後も、浙江省人民对外友好協会や文化庁表敬のほか、午後からは3班に別れて、民政庁や衛生庁あるいは農業関係機関などへの表敬訪問や視察・協議などを積極的に行いました。

その日の夕方には、金華市との友好交流に向けて、推津団長をはじめ栃木市の職員一行が金華市との友好交流を深めるための答礼や調査に出発しました。また、県の農林関係職員は翌17日から杭州市から100km位の所にある千島湖森林公園に生産現場の視察に出発しました。

どちらも、文章では表現できない程の熱烈歓迎を受けました。

16日午後から3班に別れて行った視察等の日程も無事に終了し、19日に再び全員顔を合わせ意見等の交換をいたしました。

20日は浙江省の中でも代表的な歴史を持つ紹興市を訪問し、伝説的な書道の大家である王羲之ゆかりの蘭亭などを見学しました。いずれも天気に恵まれ、熱烈な歓迎を受けた1週間の浙江省滞在も多忙のうちに終わり、21日朝、杭州市から上海市に到着、直ちに上海市内を視察し、翌22日、全日程を終了し、帰国の途につきました。有意義な訪中でした。なお民間代表として特別参加された中村グランドホテル会長の御協力も大変錦上花を添えたようで浙江省側からも良い評価をうけました。改めて深く感謝を申し上げます。

(県国際交流課 仲山中央)

海外で活躍する本県出身者を激励するため、県海外移住者激励訪問団が、中南米、ハワイを10月25日から11月9日までの16日間に亘り、歴訪しました。

前号では、ブラジル、アルゼンチンまでの様子を掲載しましたが、今回は帰国までを紹介します。

11月4日 栃木県海外移住者激励訪問団（団長：鈴木乙一郎栃木市長）の一一行20名は赤道を越え、早朝メキシコシティー国際空港に到着。ここメキシコシティーは海拔約2,300mに位置し、朝晩の冷え込みは厳しい。希薄な空気と世界的有名なスモッグの中で市内視察。ソカロ広場は週末とあって市民やフォルクローレを奏でる若者、タコスを売るメスティソで賑わいを見せています。この夜、メキシコ料理を食べながらマリアッチ等のメキシコ民族舞踊を鑑賞。



メキシコ日系人との懇談会

11月5日 太陽のピラミッドや月のピラミッド等のあるティオティワカン遺跡を見学。空気が薄いためか息がすぐれます。午後にはどろぼう市を見学。

そしてメキシコ日系人会との懇談会。約30名の日系人が来墨の際よくお世話になる関口貞次氏宅に集まり、手作りの日本料理やメキシコ料理で団一行を歓迎してくれました。団員と日系人とがおもいおもいに輪をつくり話に花が咲き時の経つのも忘れさせます。ちなみに、メキシコでは日本人を高く評価しています。その要因の一つには日本人の勤勉さや誠実さが働いています。

11月6日 一行はメキシコを離れ、ロサンゼルスへ。ここで国内線に乗り継ぎ、一路常夏のハワイへ。ホテルからの黄昏の海とさざ波のメロディーが長旅の疲れを癒してくれます。

本格中国料理

雅秀殿が追い求める食に終わりはありません。



(和室13部屋 洋室個室17部屋 喫数380席)駐車総数80台



ハワイ県人会との懇談会

11月7日 午前に強風の吹くヌアヌ・パリ（涼しい岬）等の名所を見学。午後には団役員とハワイ栃木県人会との懇談会。40歳の若さでハワイのすし店を経営する方や70歳を過ぎてから国家試験の指圧免許をとった方等と郷土や異国の思い出に話がはずみます。夜には知事と夕食を囲んでの懇談会。団員は今回の歴訪の感想や成果を和やかに話しています。

11月8日 全ての日程をつつながりなく果たした団一行はホノルル国際空港をあとに秋が深まっている日本に向かいます。

11月9日 日付変更線を飛び越し、16日間の回想にふけっているうちに成田空港にランディング。多くの関係者の出迎えの中、解団式。ここで団員はおのれの想いを胸に16日間の旅の幕が下りました。 おわり (協会 佐藤記)

TEA BREAK (That's 学の巻)

太陽の石（アステカ・カレンダー）



中央に太陽神、周りの4つの四角形は宇宙の経てきた時代を、20日を1ヶ月、1年を18ヶ月、「空の5日間」で365日の1年に。アステカ人はこのカレンダーをもとに、農耕や祭事を行った。メキシコ・オリエンピックのシンボルマークとして世界に知れ渡る。

歓送迎会・謝恩会
ご予約受付中



- ◆年中無休
- ◆営業時間
AM 11:00～PM 10:00

20名様以上マイクロバス無料送迎致します。

中國料理 賀殿

總本店 ☎0286(32)7722
宇都宮市東宿郷5-4-1
栃木 ☎0282(24)8734
本店 栃木市城内町2-24-43

マレーシア青年との交流の旅

秋も深まりつつある平成元年11月18日夕刻、クアラルンプール国際空港に到着した私たちを待っていたのは、『ようこそマレーシアへ』と日本語で書かれた横断幕と、現地受け入れ団体のネグリスンビラン州青年評議会会員の方々の笑顔と、日本の夏よりも湿気の多い蒸し暑さでした――。

栃木県青年会館は、マレーシア国ネグリスンビラン州青年評議会と協定を結び、隔年で代表団を派遣し、友好交流を促進していますが、このたび、その派遣団の通訳として渡航し、王宮訪問や首席大臣表敬訪問をはじめ、各地区の文化・産業・その他の分野の視察や、ネグリスンビラン州内各地区の青年会の方々との懇談会、更に、都市部・村落部・政府開発地区の3箇所でのホームステイなど、観光ではできない、様々な経験をさせていただきました。

まず、驚いたのは、移動時はほとんどパトカー先導で、道行く一般車両を路肩によせてしまった事です。日本と異なり、マレーシアでは青年団活動が大変さかんだそうですが、このことからも、その組織力の強さがうかがわれます。受け入れ団体の方々は、「こうしないと、渋滞がひどくて日程をこなせない。」と笑っていましたが、日本では、国賓級の方々でなければこのようなサービスはうけられないでしょう。

マレーシアではここ数年間ずっとルックイースト（東方）政策がとられており、マレー人の中には観光や留学などで日本に来たことのある方もたくさんおられ、その親日感情は相当なものでした。日本人である我々はその恩恵を受け、州首席大臣の自宅に招かれたり、地元中国系マレー人向けの新聞に載ったり、テレビの取材を受けたりと、どこに行っても歓待を受けました。



州議会議事堂でネグリスンビラン州首席大臣と



旧王宮にて



王宮にて

また、ホームステイをとおして、マレーシアの方の宗教心の深さを目の当たりにすることができました。彼らは前日どんなに遅く寝ても、夜明け前には起きて、礼拝をするのです。『神』を大切にし、ひたすらメッカの方角に向かって祈りを捧げる彼らの姿にはほんとうに頭が下がります。

短い期間ではありましたが、マレーシアの方々の優しさにふれ、いろいろな経験ができ、とても有意義な旅でした。それと同時に外国イコール西洋諸国になってしまいがちな我々日本人の態度を反省させられた旅でもありました。

彼らが日本について学んでいるほど、我々日本人は彼らについて学んではいません。この訪問を通じて、我々はもっとアジアに目を向けなければならないということを痛切に感じました。

栃木県国際交流協会国際交流相談員 高嶋 仙子

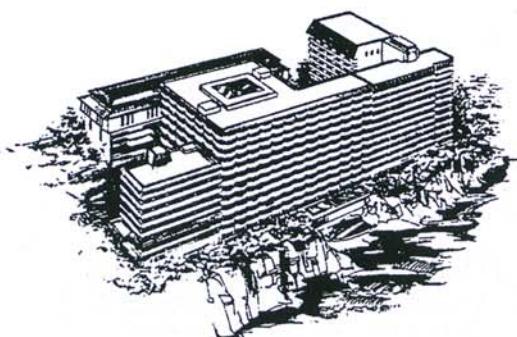
日光国立公園鬼怒川温泉

政府登録
国際観光旅館 あさやホテル

栃木県塩谷郡藤原町大字滝813番地

TEL 0288(77)1111(代)

FAX 0288(77)0643



ボリビア体験記

青年海外協力隊昭和62年度二次隊ボリビア派遣 高橋 隆子（宇都宮市今泉町出身）

昭和63年2月6日、プロペラ機は私の任地であるボリビア最北東の町、リベラルタに到着。メキシコでの1ヶ月半の語学研修、首都ラ・パスでの1週間の研修を終え、やっと目的地についたものの、周囲は見渡す限りのジャングル… 土の滑走路に降り立ち、ムッとした空気に包まれた私は、不安で胸が張りさけそうだった。

翌日から活動開始。配属先はこの町唯一の病院。その検査室での技術指導というのが私の仕事であった。患者はマラリア、寄生虫疾患、栄養失調が大部分である。患者は、病院に行くとお金がかかる、と思っているので、極力自分で治そうとする。どうしても治らないと思った時に病院に行くので、その時は重体ということも少なくない。もっと早く処置をしていれば、時間もお金も費さなくてすむのに…寄生虫疾患の一原因である飲料水も、彼らはやはり井戸の水をそのまま飲む。いくら煮沸するように言っても、「味が変わるから」と言って生のままで飲む人が多い。寄生虫疾患は直接死に至ることが少ないので、楽観視しているのである。

生活が苦しいと、自然と医療や教育が疎かになるようだ。栄養失調で死んでいく子供を見る度、私はその母親、そしてボリビア政府の、医療に対する無関心さを憎んだ。しかし、



給料未支給に対するデモに出かける前
この2年間、予防注射は定期的に、全国規模で行われるようになつた。歩みは遅いけれど、少しづつ良い方向に変わってきていると信じたい。

今、私はボリビアの国、そしてボリビアの人々が大好きである。人間不信に陥った時期もあったけれど、彼らが心の暖かい人々であったからこそ、無事に任期を全うできたのだと思う。いつの日か、またボリビアを訪れてみたい。それまで、少しづつ、でも着実に発展し続けてほしい。

私の第2の祖国、ボリビアに乾杯！

こちら国際交流最前線

青年会館

財団法人栃木県青年会館（以下、青年会館と記述）の国際交流活動は、青年会館の主催するものと青年会館を構成する八団体が行う事業への財政援助やスタッフの派遣等、協力をするものとに分けられますが、ここでは青年会館の主催するものに限って記してみます。

最近では昨年11月のマレーシアはネグリスンビラン州を訪れての交流があります。今回が3回目となったこの旅は、各地で大歓迎を受けるとともに特色あるプログラムや現地の人達との交流を通じてたくさんのこと学びました。ことにホームステイでは『マレーシアの生活そのもの』ということから何10年も前の日本の生活体験もあって少々ビックリさせられながらも、しかし、その彼らが非常に心豊かなには改めて多くのことを教えてくれたのでした。



結婚式の準備の手伝い（ゲドク村）



ゲドク村のみなさんと

今後は1年ごとに代表団の派遣と受け入れを行うことになっていますが、継続的な交流によって両国青年の友情がさらに深められるものと期待をしています。また、団体や一般の青年に加えて高校生が事業参加するなど、派遣事業そのものも着実に広がりつつあります。

こうした交流活動は昭和60年、「開館10周年記念事業」として行った東南アジアへの代表団派遣を機に新たな段階に入りました。つまり、それまでが機会に恵まれてこその国際交流活動であったのに対し、積極的に、しかも長期的な視野に立った交流活動へと一步踏み出したもので、冒頭のマレーシアの青年との交流もその一つです。

以来、当会館の国際交流活動はこれを軸として展開、これらに通常の交流機会を組み合わせながら独自のものをめざしていますが、とりわけ派遣事業では①定期的、継続的な取り組み②事業内容での青年会館らしさ（企画）③経費の個人負担（共通経費は除く）一等を姿勢として推進しています。

お正月国際交流の集い

～350人が集まって、日本のお正月をエンジョイ！～

当協会は1月13日に「お正月国際交流の集い」をニューみくらで開催、留学生、技術研修員やベトナム難民など15カ国の在県外国人約100名、一般参加者や協力団体等の総勢350名の華やかな国際交流が行われました。



第1部では餅つき、着付け、書き初め、伝統遊び、茶の湯、お箏、生け花等の日本古来の伝統文化コーナー。各コーナーとも大入り満員の大盛況。なかなか日頃接することのない日本文化の体験に外国人の人たちは大はしゃぎ。日本人もあらためて日本文化を再認識したと好評。日本の伝統文化や行事を通して外国人と県民がなごやかに国際交流をくり広げる場面が各コーナーで見られました。

第2部はパーティー形式で、スナックをつまみながらの国境を越えた交流があちこちで見られます。子供の頃からリズム感を養っている外国人はライブ・ミュージック、ディスコ・ミュージックが聞こえれば、自然に体が動き出します。それ

につられるように日本人も踊りに加わります。最後に福引きが行われ、「お正月国際交流の集い」は大きな盛り上がりのうちに終了しました。

『言葉』一それは異国間の最大のコミュニケーションの手段であり、また最大の障壁でもありますが、この「お正月国際交流の集い」を見た限りでは、身振り・手振りそして笑顔が一番のコミュニケーションだったようです。

最後に、この紙面を借りましてボランティア協力団体、協賛団体そしてこのイベントを成功に導いて下さった多くの皆様に御礼申し上げます。



コンピュータ・ワープロ・FAXのご用命は

富士通ディーラー

株式会社 **ケイエムシー**

宇都宮市峰町356番地(宇都宮大学前)

TEL 0286(32) 5111(代)

FAX 0286(33) 7269

事業紹介

当協会における相談事業、ボランティアバンク運営状況をまとめてみたので御紹介いたします。

国際交流相談状況

平成元年4月1日～平成2年1月31日現在

相 談 項 目		内 容	件 数
県民からの相談	海外留学	・留学先及び留学手続き・海外に長期滞在する方法・ビザの申請の仕方	35
	海外情報	・海外の現地の情報・移住者の消息調査・外国映画の紹介依頼 ・友好交流をする為の相手先の概要照会 ・国際交流に対する行政の助成について	25
	バンク運営	・翻訳者及び通訳者の紹介依頼・翻訳依頼・ホームステイの受け入れ方法 ・ホームステイ先の紹介・外国人の講師紹介依頼・講師派遣依頼	32
	その他の	・外国人研修生受入れについて・中国からの招請状に対する回答の仕方	12
小 計			104
外国人からの相談	日本留学	・日本留学に伴う身元保証人の依頼 ・留学先及び留学手続き（県民による代行手続きも含む）	11
	情報提供	・日本の法律について・栃木県、県内市町村と海外との交流状況について	11
	日本語学習	・日本語学習教材の紹介・日本語学校の有無について	10
	日本滞在	・ビザ更新手続き方法 ・日本国籍取得について（県民による代行手続きも含む）	16
	ライブラー	・日本の図書の英訳本について	3
	その他の	・恩給代理受給者更新手続きについて・国際結婚の手続きについて	3
小 計			54
合 計			158

昭和63年度相談件数 91件

県民からの相談では、海外留学に関する相談が多く、外国人からの相談としては、税金に関すること、栃木県内の日常生活の情報提供、日本への滞在期間の延長希望が多いようです。外国人が、じかに相談に来るケースが、昨年度に比べて増えています。

地域国際化協会に認定!!

平成2年1月23日に、東京の東条会館に於て地域国際化協会として認定された34団体に対し、自治大臣による認定証の交付式が行われ、当協会からは推津弘之理事長が出席し、認定証を授与されました。

我が国の国際化が急速に進展する中で、自治省においても、地方公共団体を中心とした地域レベルの国際交流を推進していくこととしており、今年度の重点施策の一つとして、各

都道府県、政令指定都市に対して「地域国際交流推進大綱の策定に関する指針」を示し、地域レベルの国際交流を推進するにふさわしい中核的民間交流組織を「地域国際化協会」として認定したものです。

これを機に、当協会もさらに充実した内容で事業を展開して参りたいと思います。

協会日誌(1989 12.1～1990 1.31)

12. 1	海外移住家族会ブロック会議(理事長出席 藤原町)	1. 5	アジア太平洋地域外交官との昼食会 (宇都宮市)
12. 6	海外技術研修員日産自動車栃木工場見学	1.13	お正月国際交流のつどい (ニューミくら)
12.11	日本海外協会総会 (東京都)	1.16	日系2世研修員受入状況調査 (事務局長出席 福島県)
	上三川町国際交流協会役員会 (理事長出席)		
12.13	宇都宮青少年コミュニティープラザクリスマスパーティー (留学生研修員出席)	1.22	とちぎマロニエ特使懇談会 (理事長出席)
	石橋町西ドイツ友好ブリュッケン会総会 (常務理事出席)	1.23	地域国際化協会認定証交付式 (理事長出席 東京都)
12.14	栃木県海外移住者激励訪問団事後研修会(宇都宮市)	1.23～25	海外技術研修員、留学生スキー教室 (日光湯元)
12.21	海外技術研修員、研修機関合同打合会 (自治会館)	1.25～26	国際交流人材育成講座 (事務局長出席 外務省)
12.21～24	日系留学生冬期中央研修会 (東京都ほか)	1.26	高校生国際理解弁論大会 (常務理事出席 教育会館)
		1.28	鹿沼市ニューアイヤーパーティー (常務理事出席)

Information Corner

「風になれ！肌に感じて！栃木路」

今年も第3回『サイクリングリゾート IN TOCHIGI』を開催いたします。実施概要は次のとおりです。

開催期日：平成2年5月26日(土曜日)・27日(日曜日)の両日
開催場所：日光市

実施コース：5/26(土)華厳の滝駐車場をスタート・ゴールとした循環コース(Aコース52km・Bコース25km)

5/27(日)日光市総合会館をスタート・ゴールとした循環コース(Cコース92km・Dコース40km)

参加費：エントリー費・宿泊費・食費・保険料などを含む
大人1人／1万円

子供(小学生)1人／5千円

1日のみの参加：1人／千円

貸し自転車：1日千円(予約要／数に限りあり)

主催：栃木県サイクリングリゾートIN TOCHIGI 実行委員会

後援：財日本サイクリング協会／下野新聞社／栃木新聞社／
栃木放送／NHK宇都宮放送局

協力：栃木県サイクリング協会／財栃木県国際交流協会／
栃木県身障者スポーツ協会／栃木県身体障害者団体連絡
協議会／(福)黒磯市社会福祉協議会／日光温泉旅館協
同組合

申し込み方法：

指定申し込み用紙に所要事項を記入し、参加料を添えて下記へ現金書留でお申し込み下さい。(締切4月20日)

〒320 栃木県宇都宮市塙田2-3-6

栃木中央ビル 共同広告(株)宇都宮営業所内「サイクリングリゾート事務局」 ☎0286-24-4147



協会からのお知らせ

ボランティアバンク登録状況 平成2年1月31日現在

○インターパリターバンク登録者 134名

英語89名・中国語11名・スペイン語8名・フランス語6
名・インドネシア語5名・ドイツ語3名・マレー語2名・
ロシア語2名・韓国語2名・日本語2名・ポルトガル語
1名・フィンランド語1名・ペルシア語1名・ネパール
語1名

○ホームステイバンク登録者 84名

"CYCLING WEEKEND IN TOCHIGI"

Last year over 800 people gathered to ride on the second annual Nikko-Nasu Resort Cycling Weekend. The weekend was great fun for all those who participated. The "Cycling Weekend in Tochigi" is not a race but a recreational activity. We hope you to take this occasion to make many friends.

Date and Time:

Saturday May 26th 13:00-16:00(riding)/19:30-21:00(reception)

Sunday May 27th 9:30-16:00(riding-lunch-riding)

Location: Nikko

Cycling Courses:

Saturday May 26th, 1990 Start at 13:00-16:00

Loop course from/to Kegon Fall Parking lot.

(Course A 52 kilometers/Course B 25 Kilometers)

Sunday May 27th, 1990 Start at 9:30-16:00

Loop course from/to Nikkoshi Sogo Kaikan (Nikko Hall)

(Course C 92 kilometers/Course D 40 kilometers)

Registration Fees:

1,000 yen : day trip participants (includes a box lunch, maps, snacks & maintenance)

2,000yen : For Sat. & Sun. day trip participants (not including lodgings)

10,000yen: For those requiring lodgings(four meals included & maps and other fees)

5,000yen: For children requiring lodgings (6 to 12 years old)

Bike Rental:

1,000yen per day (reservation required) is available ONLY for those who participate in course B or D. Please feel free to bring your own bicycle.

Host Institution:

The Tochigi Prefectural "Cycling Resort in Tochigi" Committee

Sponsors and Supporters:

Japan Cycling Association, Shimotsuke Shimbun, Tochigi Shimbun, Tochigi Broadcasting, NHK-Utsunomiya

Cooperation:

Tochigi Cycling Association, Tochigi International Association, Nikko Onsen-Ryokan Group Union, and three other organizations.

Information or Registration:

For more information or to register please contact Ms. Noriko Takashima at the Tochigi International Association ☎0286-21-0777.

In Japanese, please call the Cycling Resort Office at ☎0286-24-4147.

Application deadline: Friday April 20, 1990

※Cancelled if there is rainy weather.

インターパリターバンク登録者 (134名)	県央地区	県北地区	県南地区
インターパリターバンク登録者 (134名)	79名	31名	24名
ホームステイ登録者 (84名)	38名	21名	25名